

「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」に関する質問と回答

質問者：公益財団法人どうぶつ基金

質問日：2022年6月5日にメールにて質問

回答者：奄美野生生物保護センター、奄美大島ねこ対策協議会

回答日：2022年6月22日、8月2日にメールにて回答

質問1_ノネコの捕獲状況について

① ノネコとして捕獲された猫の頭数

- ・ 捕獲開始からこれまでに捕獲された頭数（期間も示してください）
⇒344頭（2018.7～2022.5末）
- ・ うち、2021年度に捕獲された頭数
⇒124頭

② 耳カットがある等不妊手術済みで、一度は人の手が加えられたことが明らかな猫が捕獲された数

- ・ 捕獲開始からこれまでに捕獲された頭数（期間も示してください）
⇒78頭（2018.7～2022.5末）
- ・ うち、2021年度に捕獲された頭数
⇒48頭

③ 首輪またはマイクロチップ等の装着により飼い猫である可能性があり公示した猫の数

- ・ 捕獲開始からこれまでに公示した頭数
⇒飼い猫とみられるネコはこれまでに13頭捕獲、うち、11頭について公示
- ・ うち、2021年度に公示した頭数
⇒4頭

④ 新たな飼い主に正式譲渡された猫の数

- ・ 捕獲開始からこれまでに正式譲渡された頭数
⇒譲渡認定者へ譲渡されたネコは347頭
- ・ うち、2021年度に正式譲渡された頭数
⇒124頭

質問2_かごわなによる猫以外の動物等の捕獲状況について

① ノネコ以外の動物の捕獲の有無

⇒混獲防止には努めておりますが、ノネコ以外の動物が捕獲される場合もあります。

② 上記①が有りの場合、その動物種・数・捕獲後の措置

⇒在来種が捕獲された場合は、健康状態を確認した上で速やかに放逐することとして

います。2021年度（2021.4～2022.3末）は以下の在来種が捕獲されています。
アマミノクロウサギ8頭、ケナガネズミ9頭、ハシブトガラス104羽、シロハラ4羽、
ハブ1頭、オットンガエル2頭。在来種その他、クマネズミ15頭。

- ③ 上記①が有りの場合、捕獲された在来種の写真をご提供いただけないでしょうか。
⇒2021年度の混獲事例写真を別添いたします。
- ④ 上記①が有りの場合、捕獲された在来種のうち負傷または死亡した動物の有無
- ⑤ 上記④が有りの場合、負傷または死亡した動物の頭数や状況など詳細をご教示ください。

⇒2021年度はハシブトガラスが1羽死亡しております。外傷や罠内で暴れた形跡などはなく、前夜の大雨の影響による体温低下から衰弱死に至ったと考えております。

※罠には捕獲個体のストレス低減のため、雨や日差しよけのカバーをつけています。

質問3_かごわなによる捕獲方法について

昨年度のご回答では、誘引餌は主にキャットフードを使用し、状況をみながら検討・変更を行っているとのことでした。2021年度、上記捕獲方法に変更等はありませんでしたでしょうか。

もし、捕獲方法に変更等があった場合は、変更内容についてご教示ください。

⇒ 捕獲方法について変更はありません。